

永遠につづく
悪夢の廃墟で

僕は

ハッピーエンドオブザワールド

美しい肉塊に出会った



僕は生物学者だ
調査研究のため、この古い街に
きたのだが…



事前の情報とはちがいで
ゴーストタウンと化していた

でも行かねば
ならない…!!
なぜかそういう
使命を感じるんだ



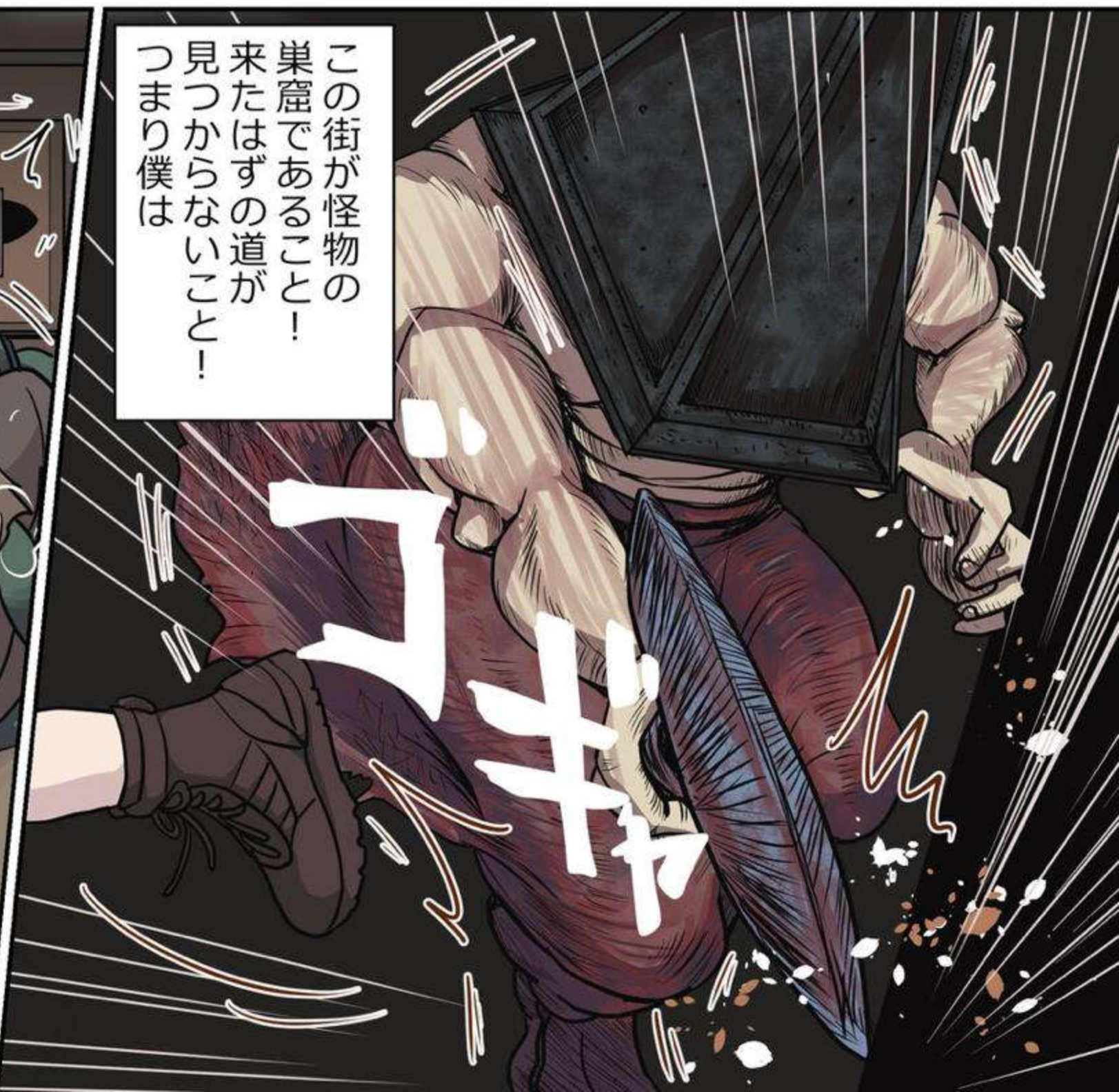
さあ、
はあ、

クソツ!!



だが、結局
わかったことは…

この街が怪物の
巣窟であること！
来たはずの道が
見つからないこと！
つまり僕は



悪夢に囚われた
ということだ



怪物どもめ：
最初こそ新生物だ
大発見だと喜んだが

どれも敵意を持っている！
研究どころじゃなく
生き延びるのが先だ



逃げ回り 隠れ
物音におびえ
疲れ果てたそのとき

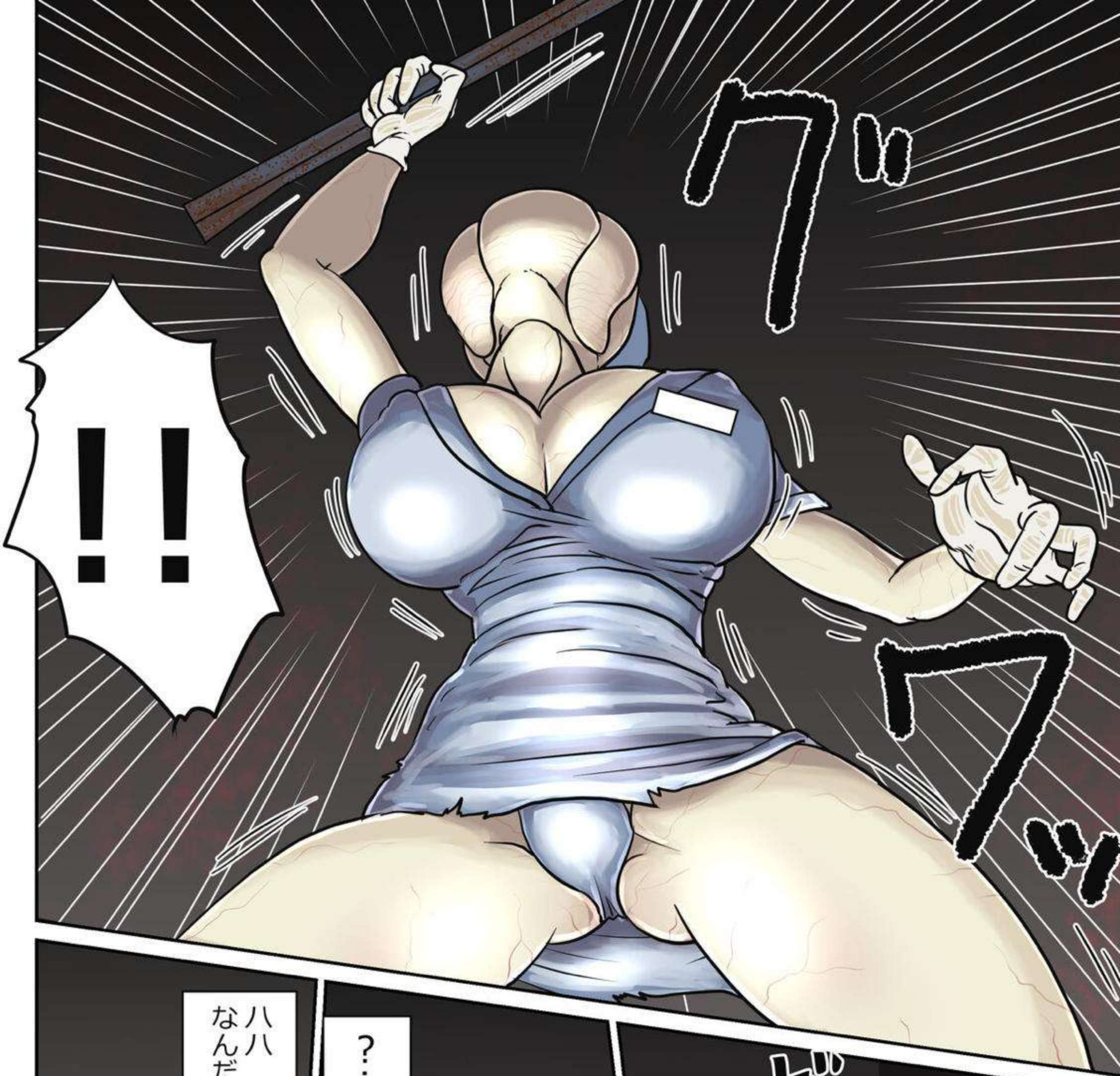


そいつは現れた



!?





!!

クッ

クッ

ッ

ハハ
なんだこいつ

.....
?



刺さったのが
抜けないのか？



うわっ



非力だツ…!
成人女性以下ツ

116...シ



や やった…

ついに化け物を
つかまえたぞ…!

ビクッ

理不尽なこの街に
翻弄されつづけた僕が

唯一 征服した
この下等生物

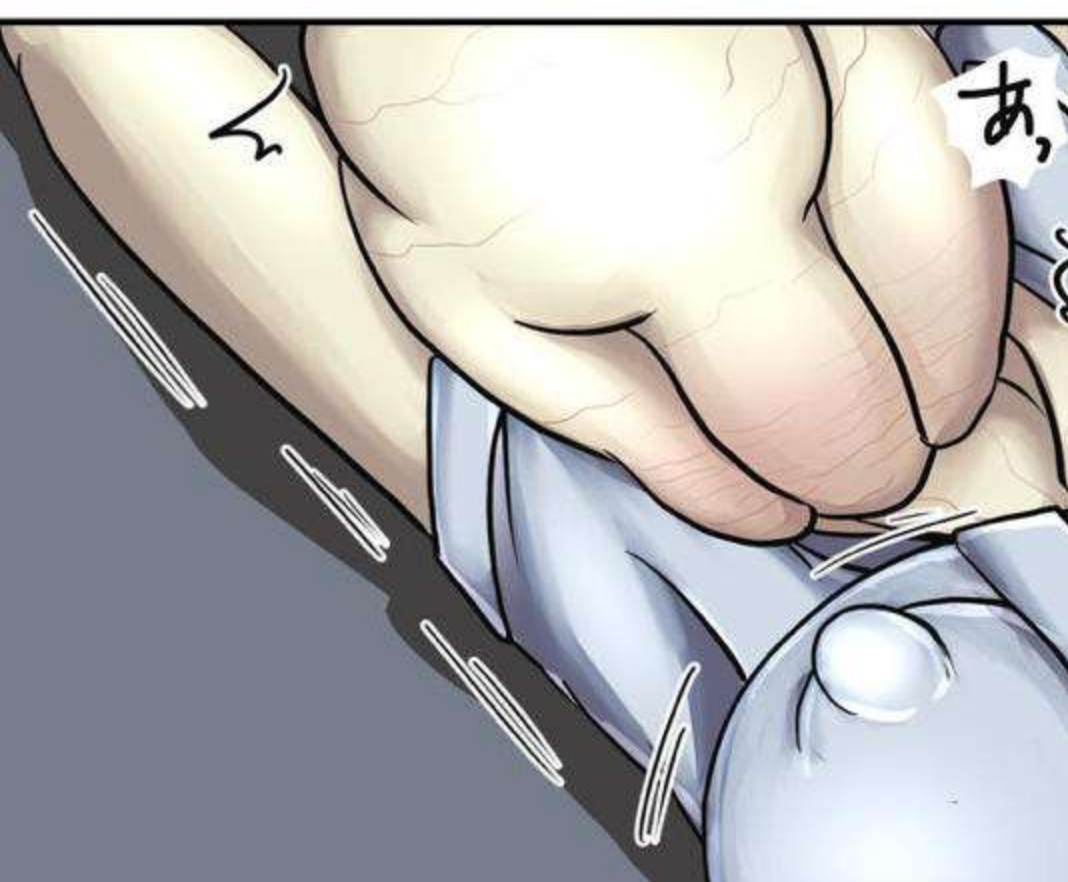


知能もなく抵抗もできず
拘束されたままの
無力な肉塊……

たまりにたまった
やり場のないストレスが



ついに
爆発した





あ

はあ

はあ

ぬ
濡れて…っ

あ

僕を
受け入れてる…!!

あ

ぬちや

ああ…

又ル又ルと
奥まで…っ

みち

又ル♡

あ

きつ
キモチ
良すぎるとっツ……!

顔もない
化け物に
なツ



アソコも女
そのもの…ツ



ああっ
もう出る…ツ



あ…あううっ

僕に服従したのか？
おとなしくされるがままに
なってる

僕が勝手な
欲望をぶつけても

むしろ
それを悦んでいる
ような…





また出ちゃう...ッ

ダメ...

敵ばかりの
この街で



い...イってる!?!
ケイレンして...っ
ああ締まるッ



そう思ったら

コイツだけは僕を
受け入れてくれる

ビクッ

どうかしてる

どうかしてるけど
キスしたいって
思ってしまったんだ

口...というには
あまりにお粗末な器官が
出現した

僕の意識に
感応したのか!?

あ



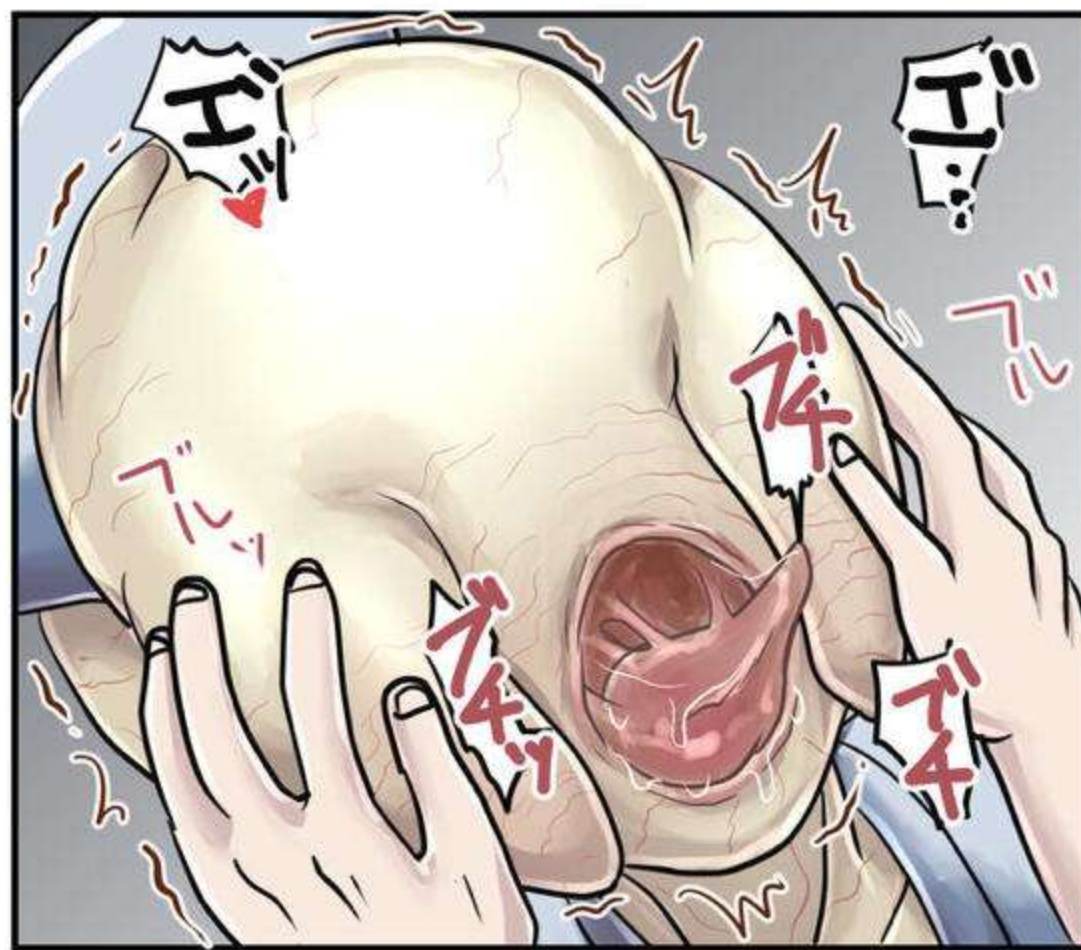


これはヒトの
新生児と同じ
模倣反応！

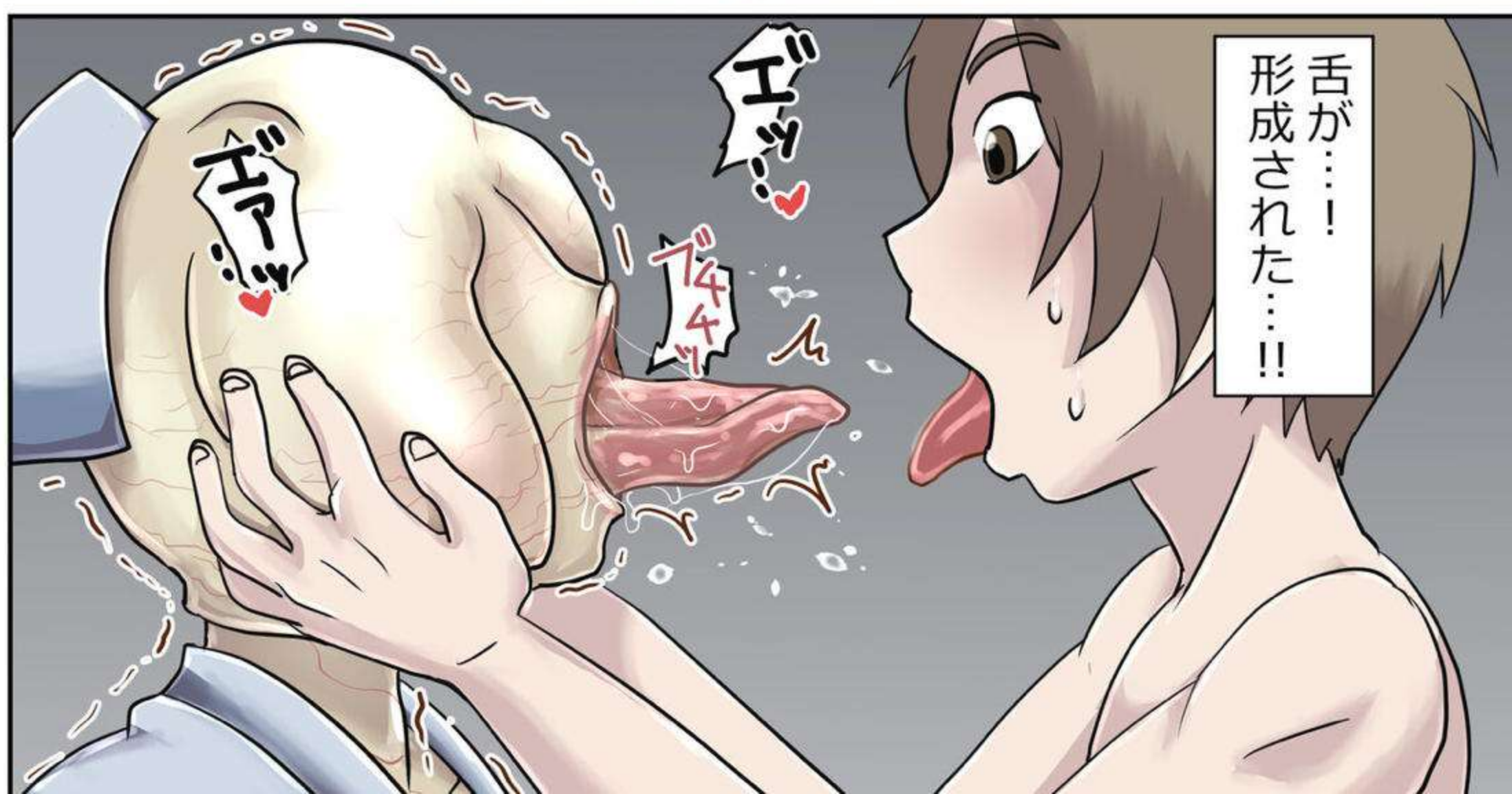
ミラーニューロン
(共感神経)が
存在するの...？



い...いいぞ
クチはこうだ



これが
舌...！



舌が...！
形成された...！！

彼女の
生まれたての
器官に：

僕が性的刺激を
書き込んであげる

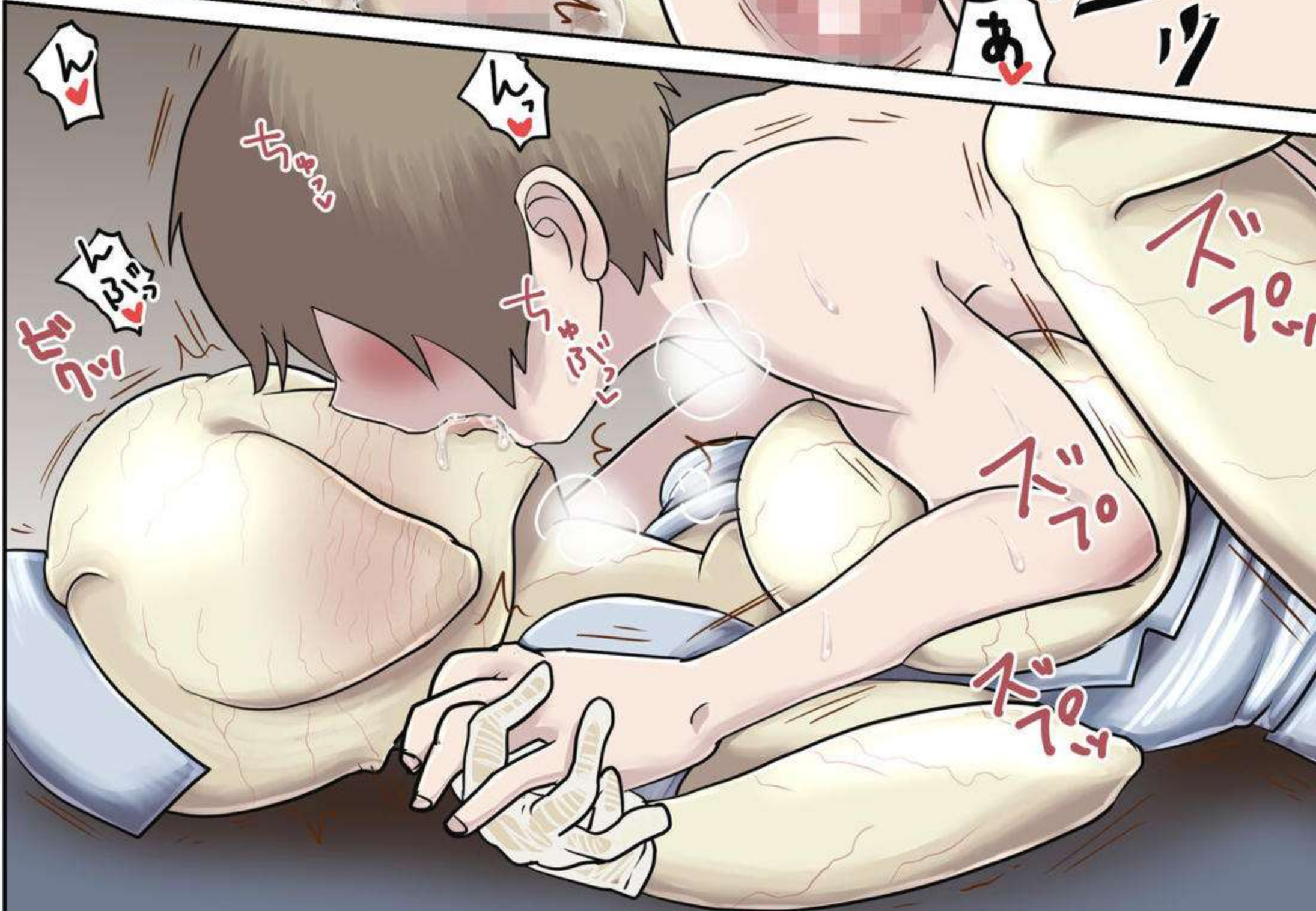
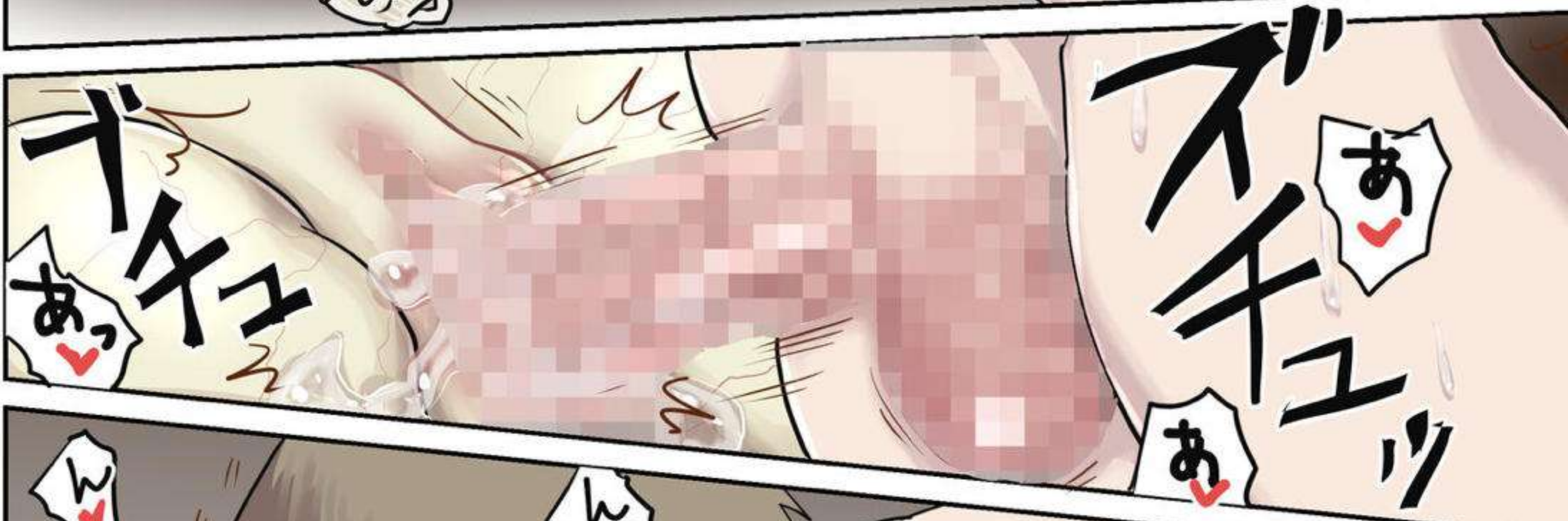
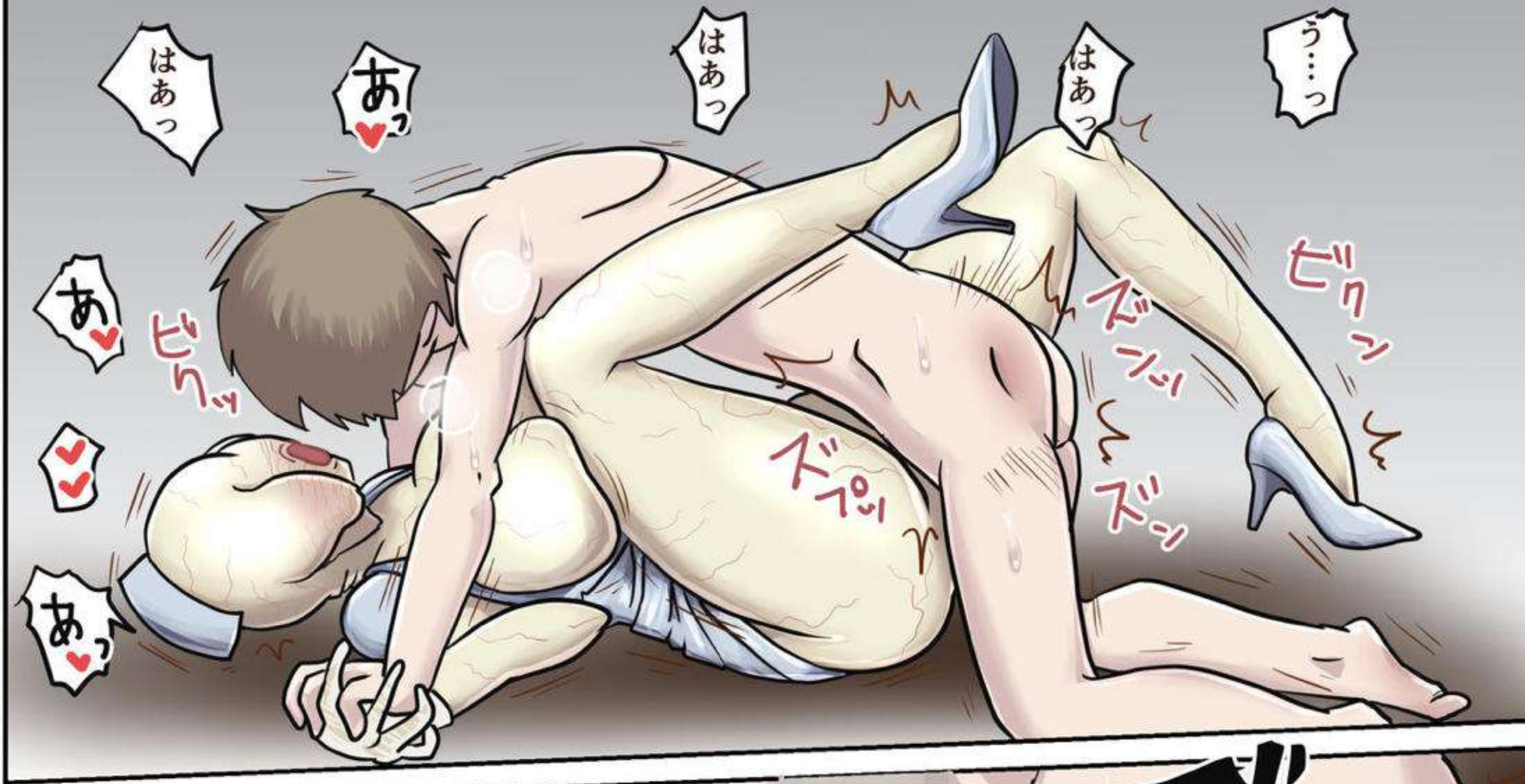
ミラーニューロン
共感神経が発火して
肉欲がうずきだす

だから
もつと

ね
覚えた？

これは
キモチイイところ
なんだよ

ね
もつと









これがフェラチオ... は、はじめて...っ

あッ あうっ き

きもちい...っ

はあっ はあっ

おっ すいぶっ

ビュン

ビュン



えっ

ベロ... 使ってる!?

あああ

あーっん ぢゃんぢゃん

うそっ エロい...っっ あああ

ねっとり 吸い付いて...ッ

ビュン



うう この感触...!

喉のおくっ 粘膜がヒタヒタに... ち、腫みたいにっ!?

性器として 進化したんだッ

「キモチイイ とこなんだ」

ぼくが...

おしえた からっ...

はっ

はっ

あっ ぢゃんぢゃん

ふっちゅっ

ぢゃんぢゃん

ぢゃんぢゃん





でも何度も
何度でも
射精した



何時間たっているのか
もうわからない



悪夢の続き？
でも
これでいい

疲れも
恐れも
何もない

この美しい肉塊と

ずっとずっと
つながっていたい



言語なんかいららない

ズググ

知識も

理性も

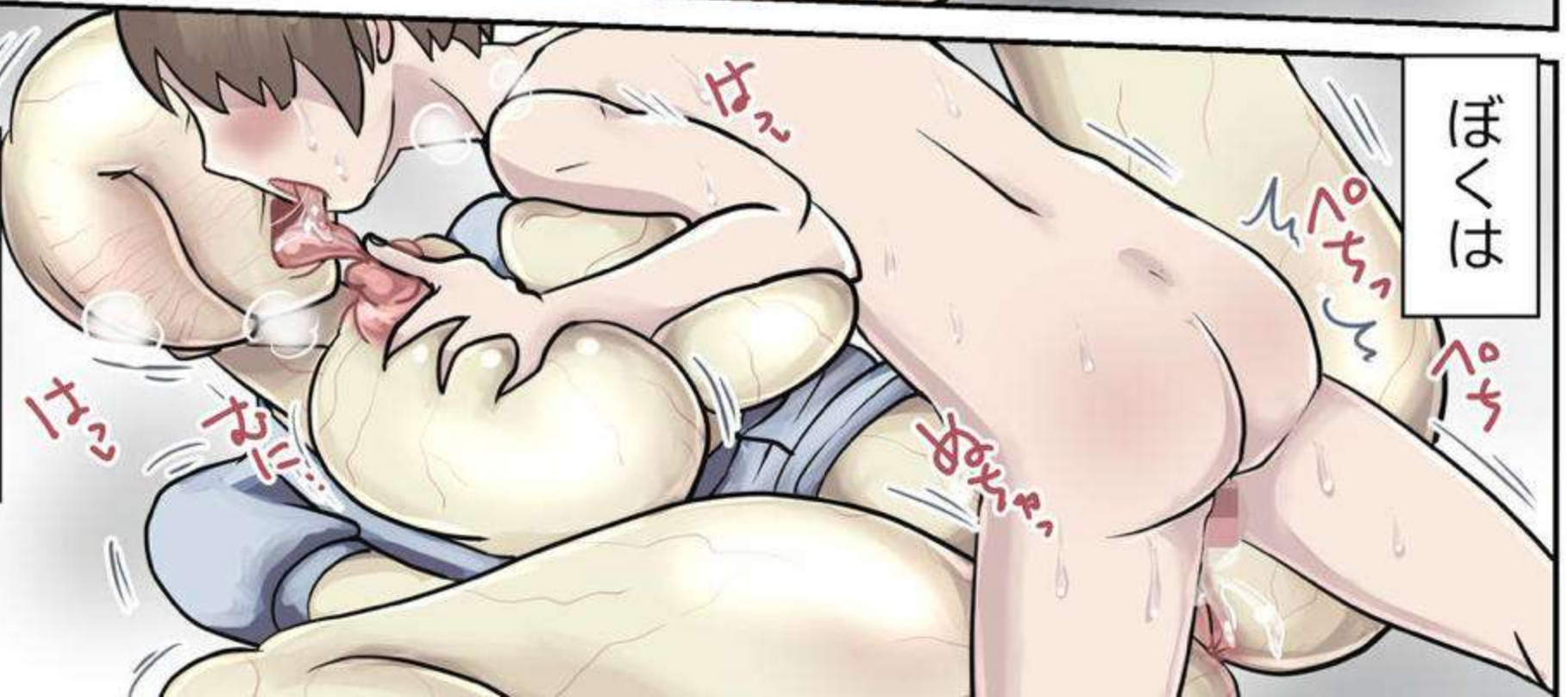
なにもしらないんだ

ズググ

ぼくは

ハッハッ

ぼくたちは



永久にしあわせな
ひとつの器官になつたんだ



そして

ぼくは

かんがえ
るのを

やめた

搜索願いが出されたが
彼の行方は
ついにわからなかった



封鎖されていたはずの
その街に 彼はなぜ
たどりつけたのか？
それは街だけが知っている…





